

◆災害歯科保健活動について◆

歯科衛生士の私が DMAT 隊員として活動する意義

総合南東北病院 口腔外科 飯村 由佳さん

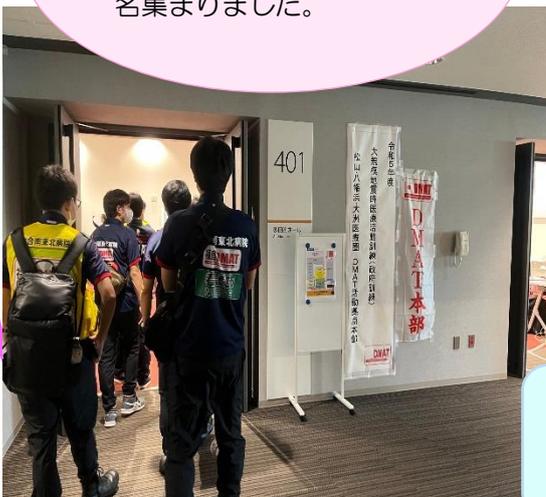
2016年、熊本地震。日本医師会から当院への依頼をきっかけに、私は初めて災害支援に参加しました。被災地では、全国から集まったDMAT（災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム）・自衛隊・警察等が活動していました。私が参加したのはたった7日間ですが、DMATチームの柔軟性・機動力に感銘を受け刺激を受け続けた日々でした。柔軟性と機動力を身に付けた幅広い分野で活躍したいと考えた私は、その後も2019年の東日本台風第19号、2020年の新型コロナウイルス感染症の大規模クラスター（北海道旭川市）等いくつかの災害支援を経験したのち、日本DMAT隊員として厚生労働省に登録されました。医師・看護師以外の職種は業務調整員になりますので、私は業務調整員です。主に、情報の収集・記録・伝達・共有、関係機関（消防・警察・自衛隊等）との調整、資源の確保等を行います。実際には医師・看護師の業務範囲以外はすべて業務調整員の仕事です。

業務調整員は全国に4,650名登録されていますが、歯科関係者は現在私1人です。どの災害現場・訓練に行っても、「歯科衛生士？歯科衛生士の隊員は初めてだね！」と驚かれます。

災害現場はもちろん、日々の訓練も、調整や準備・後処理等大変なことが多いです。それでも私は活動を続けます。積極的にDMAT活動が続けることが、歯科衛生士の認知度向上に繋がると思うからです。今後も、広い視野で多方面から歯科衛生士の認知度向上に努めます。

学生部の皆さん、歯科衛生士国家試験の合格はゴールではなくスタートです。いつまでも柔軟な考えと広い視野を持ち、様々なことにチャレンジし続けましょう！

今年度の政府訓練。全国のDMATが四国に約3,200名集まりました。



活動拠点本部で、愛媛県内中心部医療圏の調整を行いました。

訓練終了後、記念撮影。愛媛県松山市で製造しているカールをお土産に頂きました。



◆支部活動報告◆

福島支部

齋藤 千秋さん（福島支部長）

歯科衛生士会福島支部では、市町村からの委託事業として「乳幼児健診での保健指導」「育児相談会での歯科指導」「成人健診結果相談会」そして「休日救急歯科」「障がい者歯科」等、幅広い場面で会員歯科衛生士が活躍しています。

支部活動としては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し歯科医師会主催の学校指導では久しぶりに染め出しやブラシを使ってお口の中を見ながら指導ができました。

公衆衛生活動も昨年はコロナ禍で少人数での活動でしたが、今年は支部全体に周知し「道の駅ふくしま」で啓蒙活動を行いました。ホームページでもお知らせしますので学生の皆さんも遊びにいらして頂いて、これからの活動風景を見て頂けたらと思います。

研修会も今年は、三年振りに会場で対面で開催しました。

近い将来、皆さんと共に活動できる事を期待しています。

『育児相談会』



いわき支部

佐藤 桂子さん（いわき支部長）

いわき支部の主な活動は、お口の健康まつり等イベントの協力と各ライフステージに応じた歯科健康教育活動です。今後は高齢化に伴いオーラルフレイル対策の強化がより重要視され、歯科衛生士が活躍できる場面が増えていくことでしょう。それに伴い医師会の取り組みとして次世代の医療職の担い手を目指す専門職の育成を目的として当会員がPVに出演し歯科衛生士の魅力について紹介する授業が各学校にて現在行われているところです。

今後、支部では会員同士の交流の場を持ち連携できる支部を目指し、リフレッシュセミナーや講習会等徐々に企画し活動していきたいと考えております。

プロモーションビデオの撮影協力



◆私の夢◆

『私の夢』

東北歯科専門学校 3年 味戸 絵梨さん

私の夢は、多くの人を笑顔へと導くことです。時間を重ねるごとにコミュニケーションを広げ、患者さんとの信頼関係を構築することにより、来院当初の不安の声を安心の微笑みに変えられるような歯科衛生士になることです。例えば、歯の色が気になり人の前で歯を見せることに抵抗を持たれている患者さんに審美的治療を通して本来の笑顔を取り戻すなど、日常生活に彩りを与えられるような歯科衛生士へと成長することも夢の一つです。

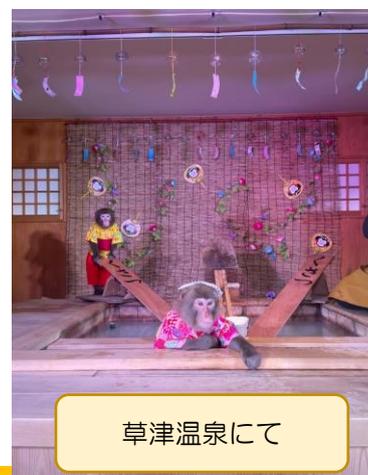
臨床実習期間を通して、コミュニケーションを図ることの重要性を改めて感じました。

「笑顔は伝染する」という言葉があるように、患者さんを笑顔に変えるために、まず、自分が笑顔になる、患者さんがコミュニケーションを図ってくれる前に積極的なアプローチをかけるなど、笑顔とコミュニケーションを大切に、優しさと思いやりをモットーに夢の実現のために努力していきます。

修学旅行でのディズニーシー



茨城県高戸小浜海岸



草津温泉にて

『私が目指す歯科衛生士像』

東北歯科専門学校 2年 我妻 祥佳さん

入学して約1年半、専門的な授業や実習を受けて学びを深めていく中で、私が目指す歯科衛生士像が明確になってきました。それは、専門性の高い知識や技術を身につけるのは勿論ですが、患者さんに対して親身にコミュニケーションを取り、個々の状況に合わせた的確なサポートを提供し、口腔内のみならず、全身の健康を守れる歯科衛生士です。また、幼稚園等で行った歯磨き指導の実習では自分達で紙芝居などを作製し、歯磨きの重要性や正しいブラッシング方法を指導しました。園児たちは真剣に耳を傾けてくれて、私自身とてもやりがいを感じました。このような経験を通じて、伝えることの楽しさと大切さを感じ、コミュニケーション能力を高める事の重要性を学びました。今後も目指す歯科衛生士像に少しでも近づけるよう目標をしっかりと持って日々の授業、実習に臨みたいと思います。

仲よし四人組です！



小学校でのブラッシング指導



保健指導のグループワーク中です



◆私の夢◆

『将来の歯科衛生士像』

福島医療専門学校 2年 西坂 千尋さん

私が歯科衛生士を目指したきっかけは、高校卒業後歯科助手として6年間勤めて多く患者さんと触れ合う中で歯科助手の知識だけでは限界があるなど感じた事からです。助手とし勤務しているときに同じ医院で働くスタッフに本校の事を聞き、同時に後押しされたこともきっかけで自分自身でももっとスキルアップをしてより一層、患者さんの近くでお口のサポートをしたいと思いました。入学してから1年半が過ぎました。新しい環境で不安ばかりでしたが、毎日学校に通って友達と会い、授業を受けて、時々アルバイトをする日々は大変な事も多いですが充実しています。学校やアルバイトがお休みの日には友達とご飯に行ったり、旅行に行ったりして有意義な日々を過ごしています。

将来、歯科衛生士の資格を取得したら、身につけた知識と技術を生かし、患者さんに寄り添い、信頼してもらえそうな歯科衛生士になりたいです。



ディズニー♡



クラスメイト

『私が目指す歯科衛生士像』

福島医療専門学校 1年 坂本 小雪さん

私の目指す歯科衛生士像は、コミュニケーション能力が高い歯科衛生士です。小さい頃から歯科医院は、痛くて怖いというイメージがあり成長しても歯科医院は苦手な緊張する場所でした。そんな時緊張している私に、気づいてくれたかのように声を掛けてくれた歯科衛生士の方がいました。少し言葉を交わしただけでしたが、緊張が和らぎ怖いというイメージも払拭することができました。また、これと同時に私も歯科衛生士になって歯科医院が苦手、緊張するという人の助けになりたいという思いを持ちました。この思いを叶える為には、患者さん一人ひとりと向き合うことが大切になります。患者さんと向き合うには、コミュニケーション能力が必要になると思います。また、コミュニケーション能力は院内での情報共有や治療をスムーズに行う上で必要不可欠になります。これらのことから私は、コミュニケーション能力が高い歯科衛生士を目指したいと思いました。勉強や実習は難しいこともありますが、自分が目指すことを叶えられるように頑張りたいと思います。



放課後の夕暮れ



発行

一般社団法人 福島県歯科衛生士会

〒960-8015 福島市仲間町 6-6 福島県歯科医師会館内